

海外短信



～インドネシア～

## インドネシアの風習と食生活について

オートリブ株式会社

オートリブ インドネシアは全従業員約 140 名の小規模工場で、日本人駐在は 1 名です。インドネシアは 13,466 の島々から構成され、人口 2 億 5 千万人（世界第 4 位）の約 90% がイスラム教徒（モスリム）で、公用語はインドネシア語です。世界で指折りの渋滞大国で、ジャカルタでの通勤は約 30km にも関わらず、夜は帰宅に 3 時間かかることもあります。

モスリムは、豚と犬は不浄の動物とされ、食べるどころか触れることさえ出来ません。アルコールは口にせず、一日 5 回の礼拝の時間があり、ラマダン（断食月）には、一ヶ月間、朝 6 時から夕方 6 時まで水も飲めません。さらに女性は肌を露出しない規律から、ヒジャーブというスカーフを被って長袖長ズボンの服装が一般的です。日本では熱中症が騒がれていますが、赤道直下で一年中 30 度以上の気候の中での水も飲めない断食には脱帽します。



現地料理は、ナシゴレン（焼き飯）、ミーゴレン（焼きそば）、サテ（串焼き）が有名です。スパイシーですが、どれも日本人の味覚に合う甘辛い味付けでとても食べやすいです。



日本食もかなり進出していて、ラーメン店から吉野家、丸亀製麺、牛角、大戸屋、ココイチ等、日本と同じ食事が出来ます。但し、モスリムの文化からアルコールは高価です。現地のビンタンビールは日本の値段と変わりません。特に焼酎が入手困難で、いいちこのボトルが一万円という居酒屋もあります。赴任して一年半になりますが、今ではすっかり現地化し、公私共にインドネシア生活を満喫しています。

Autoliv Indonesia PT  
Launch and Kaizen manager  
熊谷 義明様からの寄稿